競　技　注　意　事　項

1. **競技規則について**

本大会は、2026 年日本陸上競技連盟規則及び大会要項、大会申し合わせ事項により実施する。

2. **ウォーミングアップについて**

サンサンデッキ下駐車場北ゲート開門6:15
スタンド入り口ゲート開門7：00
補助競技場使用許可時間(トラック※一部規制)7：00～12：30
本競技場使用許可時間(トラックのみ)　7:00～8:00

3. **招集、点呼について**

(1) 招集場所は、第4ゲート外側招集所に設ける。(100m ｽﾀｰﾄ外側)

(2) 招集時間

	開始	完了
トラック競　技	30 分前	20 分前
走高跳　走幅跳	50 分前	40 分前
棒高跳	90 分前	80 分前
砲丸投　円盤投	50 分前	40 分前

※事前に欠場がわかっている場合は、欠場届を開始時刻までに、招集所へ提出すること。
(欠場届は、招集所及び、TIC に用意する)
※砲丸投、円盤投の投てき練習については、公式練習を行う。
(公式練習での投てき練習は、2 本の練習を確保する。)

(3)リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了の 1 時間前までに招集所に提出すること。
(オーダー用紙は事前に配布する。プログラム巻末・招集所・TIC にも用意する)

(4)招集完了後、選手は誘導により入場するので、招集完了者は指定場所で待機すること。
※棒高跳については、選手の誘導はしない。

(5)電子機器類の競技場への持ち込みを禁止する。ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ、音楽ﾌﾟﾚｰﾔｰ、ｽﾏｰﾄｳｫｯﾁ等招集時にチェックする。

(6)アスリートビブスは配布されたままの大きさでユニフォームの胸背部に確実に固定すること。
尚、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。

(7) 800m以上に出場する競技者は、腰ナンバーカードを招集時に受け取り、ランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。

4．競技について

＜熱中症リスクへの対応＞

・本大会のトラック種目は、3000m 決勝を除き、全種目においてタイムレース決勝とする。
・本大会の走幅跳・砲丸投・円盤投においては、2回の試技で上位8名を決め、その上位8名はさらに2回の試技を行うことができる。
・本大会の走高跳・棒高跳においては、2回連続して失敗した選手は、競技終了とする。

※会場の実測値に基づき、熱中症リスクへの十分な対応が困難な場合が予測される場合は本大会を中止とする。

・各ピットおよびゴール地点に、アイシング用の氷を準備する。選手は利用することができる。
・体調が悪い場合は、競技場1階の医務室まで連絡すること。

(1)全天候競技場につき、スパイクピンの長さは 9 ㎜以内(走高跳は 12mm 以内)とする。
(2)競技用シューズの靴底の厚さは、日本陸連競技規則(TR5)の通りとする。
※サークルを使用する競技においては靴底の厚さは問わない。
(3)トラック競技の決勝進出者については、アナウンスするとともに記録速報サイトにて掲載する。
(4)ビデオ監視システムを使用し、判定を行うことがある。
(5)4×100mリレーの第 2・3・4 走者は、主催者が用意するマーカーを使用すること。
(6)短距離種目では安全確保の為、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
(7)走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習			開始						
＜男子走高跳＞	1.60	1.75		1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95 以降 3 ㎝刻みとする
＜女子走高跳＞	1.35	1.50		1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65 以降 3 ㎝刻みとする	
＜男子棒高跳＞	3.00	3.50	4.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00 以降 10 ㎝刻みとする		
＜女子棒高跳＞	2.20	2.60	3.00	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00 以降 10 ㎝刻みとする		

(天候等、状況に応じて練習の高さは変更する場合がある)

1 位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で 2 ㎝、棒高跳で 5cm 刻みとする。

(8)棒高跳については、招集完了後、バーかけ練習(ゴムバー)2 回の公式練習のみ行う。
(9)投てき種目は投てき場で行う。
(10)フィールド競技の競技者による映像確認は危険なため不可とする。
(11)器具については、競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳のポールの検査については、競技開始前にピットにおいて跳躍審判が行う。
(12)抗議は、競技規則(TR8)にしたがってメイン競技場正面玄関エントランス TIC にて受け付ける。ただし、その際は各県の委員長を通じて行うこと。

5．その他

(1)選手・補助員・審判員以外のグランド内への出入りを禁止する。

(2)開会式には基本的にはチームウェアで、選手宣誓(開催県選手)、各県旗手(1 名)参加のこと。

(3)1 位～8 位の入賞者は、表彰を行うので競技終了後に本部表彰控席（１階正面玄関エントランス）に集合すること。服装はチームウェアを基本とする。(ユニフォームは禁止とする)

表彰は１階正面玄関エントランスにて行う。関係者のみ撮影のために立ち入ることができる。

(4)大会当日の傷害については、応急処置は行うがそれ以後の責任は負わない。

(5)走り終わった選手は、スパイクを脱ぎ、係員の指示に従い移動すること。

(6)会場での注意事項

・チームで出したゴミは、全て持ち帰ること。(競技場周辺のごみ集積所、駅、コンビニなどに捨てない)

・メインスタンドにおいて、物を置いての場所取りや集団での応援は禁止する。

・横断幕、部旗及びのぼり旗等の設置については、応援横幕は、サイドスタンドの第１曲走路～バックスタンド～サイドスタンド第４曲走路の中央通路と上段の手すりのみとする。ひもで止め、ガムテープ等は禁止とする。(のぼり旗も同様)

※スタンドから競技エリアへ垂らすことは禁止とする。

・テント（タープ類の簡易テントも含む）の設置については、危険防止のため、スタンドへの設置は禁止する。

・防水塗装保護の為、競技場内にベンチを設置する場合、粘着テープや傷をつける可能性のあるブロックや石などを使用しないこと。

(7)商標について

・競技場内に商標のついた衣類・バック・傘等を持込む場合は、以下の規定を守ること。

・上半身の衣類：面積 30ｃ㎡以内の長方形、文字は縦 4ｃｍ以内、ロゴ全体で縦 5ｃｍ以内 1 ヶ所

・下半身の衣類：面積 20ｃ㎡以内の長方形、文字は縦 4ｃｍ以内(ロゴを含む)1 ヶ所

・バッグ等：面積 25ｃ㎡以内で、ロゴは 2 ヶ所までとする。

・競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

(8)補助競技場の注意事項

〇補助競技場

※円盤投の競技を行うため、第1曲走路～第2曲走路までは使用できない。

・ホームストレート

1･2レーン → リレー練習　　スタブロ使用不可･周回練習はできない

3～6レーン → SD練習レーン　　スタブロ使用可

7レーン → 100mH練習レーン　　スタブロ使用可

8レーン → 110mH練習レーン　　スタブロ使用可

・第3曲走路

3～6レーン → リレー練習　　スタブロ使用可

・フィールド内での練習は行わない

※円盤投競技エリアについて、立ち入りを禁止とする

・注意事項

①個人で用意したラダーやミニハードルなどの私物器具は持ち込めない。

②係員の指示に従い、事故の無いように配慮、注意すること。

③前日・当日ともに、危険防止のためピット以外での投てき練習は禁止する。

〇1階軒下

・第1曲走路側は、動きづくりや流しを行うことができる。(一方通行)

・第4曲走路側は、JOG を周回で行うことができる。

・個人で用意したラダーやミニハードルなどの私物器具は持ち込めない。

〇雨天練習場は解放しない。(走幅跳選手控え・補助員控え)

(9)観客席からの撮影制限について

・写真・動画撮影はスマートフォン・タブレット端末のみ可能とする。

ただし、以下の撮影は禁止とする。

① 各種目スタート後方と走高跳、棒高跳、走幅跳の助走後方および着地前方

② 競技者がスターティングブロックに足合わせをしたり、試技を待っていたりする時

※その他の状況でも主催者が不審と判断した場合は、関連機関と連絡を取り対処する。